

2014年度 國學院大學法科大学院

《3月特別法律科目試験》

刑 法

● 注意事項

- 1 試験時間は、9時30分から10時30分までです。
- 2 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 3 解答用紙への記入は、黒もしくは青インクのボールペンまたは万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）を使用してください。これ以外のものを使用した場合は、無効となります。
- 4 訂正をする場合は、明確に線で消してください。修正液等は、使用しないでください。
- 5 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の印刷不鮮明等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入してください。
 - ① 受験番号
 - ② 氏名
- 7 問題の内容に関わる質問については、お答えできません。
- 8 「六法」は、貸与する『ポケット六法』以外使用できません。また、毎試験終了後、『ポケット六法』は回収します。
- 9 解答中に解答用紙を毀損した場合、手を挙げて監督者に知らせてください。監督者の確認後、新しい解答用紙と交換します。
- 10 携帯電話等は、時計としての利用も認められていません。必ず電源を切り、鞆などの中にしまっ、身につけないでください。
- 11 試験開始後、終了まで原則として退室は認めません。
- 12 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。いかなる理由でも解答用紙は、持ち帰ることはできません。
- 13 体調が悪い場合は、手を挙げて必ず監督者に伝えてください。

問 次の事例を読んで、甲の罪責及び罪数を述べなさい。(但し、道路交通法等特別法違反の点については除く)

甲は、日頃から心よく思っていなかった乙の車が、キーを入れたまま乙宅の門前に駐車してあるのを見つけた。そこで甲は、乙を困らせてやろうと思い、車を発進させた。甲は、当初、車を別の場所に放置してそのまま逃走するつもりであったが、5分ほど運転するうちに乙の車が欲しくなり、そのまま数十分運転した。

ところが甲は、前方不注視のため、信号機のない横断歩道を渡っていた丙をひき、重傷を負わせた。甲は丙が苦しんでいるのを車中から見てこわくなり、また、乙の車を勝手に運転していることが発覚してはまずいと思い、丙がそのまま死んでもいいと考え、車を道路脇に放置して逃走した。

丙は身動きできないまま車道に横たわっていたため、後続の車にひかれて即死した。